

【GFオルトランス】2008年12月25日作成

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

←この色の部分が2008年12月10日付けで変更になりました。

【適用害虫と使用方法】

※印は本剤及びアセフェート、MEPを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用方法	総使用回数※
さくら	アメリカシロヒトリ	噴射液が均一に付着するように約30cm離れた所から数回断続して噴射する。	—
つばき類	チャドクガ		
くちなし	オオスカシバ		
まさき	ミノウスバ		
さんごじゅ	サンゴジュハムシ		
ばら	アブラムシ類 チュウレンジハバチ		
きく	アブラムシ類		
つつじ類	ルリチュウレンジハバチ ツツジグンバイ		

【効果・薬害等の注意】

- ①植物から約30cm離して、薬液が均一に付着するように1～3秒ずつ断続的に噴射してください。特に新芽・新葉・花卉などには十分注意してください（冷害）。
- ②日中高温時及び強風時の使用はさけてください。
- ③ストックなどのあぶらな科植物にはかからないようにしてください（薬害）。
- ④適用作物群に属する作物又はその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】 マスク着用

- ①体調のすぐれない時は散布しないでください。室内及び人体に向けて使用しないでください。
- ②取扱には注意してください。使用中に身体に異常を感じた場合は医師の手当を受けてください。
- ③眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください（弱い刺激性）。
- ④散布時は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- ⑤散布時及び散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないように配慮してください。風向きなどを考え散布液が周辺の人家、通行人、洗濯物、玩具などにかからないように注意してください。
- ⑥自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に噴射液がかからないように注意してください（変色）。
- ⑦ミツバチ及びび蚕に影響があるので、注意して使用してください。
- ⑧使用後の空缶は、戸外でボタンを押してガスを出しきったことを確認してから処理してください。

治療法：MEP及びアセフェートには硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効です（動物実験で報告）。

魚毒性：池、水槽（水産動物）に噴霧が入らないよう注意してください。